



のりまつ

校長 佐藤 哲也



学校教育目標

心豊かで自ら学び、たくましく生きる子どもの育成
くやさしく かしくく たくましく>

1 月

新年あけましておめでとうございます。新しい年を迎え、子どもたちの元気な笑顔とともに、学校にもさわやかな空気が広がっています。本年もどうぞよろしくお願いたします。

さて、今年の干支は「丙午（ひのえうま）」です。丙午は、60年に一度めぐってくる特別な干支で、昔は「勢いが強い」「活発」といったイメージから、さまざまな言い伝えが生まれた時代もありました。しかし、今ではそうした考え方は迷信として受け止められ、丙午生まれの方々が社会の中でいきいきと活躍されている姿も多く見られます。

また、「丙午」は「丙」「午」の双方が火の属性を持つため火の力が重なる年とされエネルギーに満ちた年となるといわれています。

新しい年の始まりにあたり、子どもたち一人ひとりが、自分の良さに気づき、友だちと支え合いながら、力強く成長していってくれることを願っています。

第72回福岡県小学校児童画展で学校賞をいただきました。

今年度の福岡県小学校児童画展で学校賞として「毎日小学生新聞賞」をいただきました。児童画展では本校の全児童が作品を制作し、その中から優秀なものを学校代表として出品しています。本年度も多くの児童の作品が入賞し、学校賞受賞につながりました。皆さんの頑張りに感謝します。

避難訓練

1月16日(金)に地震から火災が発生したことを想定して避難訓練を実施しました。この避難訓練は今から31年前に起こった阪神淡路大震災を教訓としたものです。阪神淡路大震災は都市を直撃した地震で建物の倒壊や火災で6,400人以上の人の尊い命が奪われました。また、交通や通信が遮断され、家族の生存が確認できない状態が続いたことを教訓として、現在、学校でも活用している災害時緊急連絡カードが作られたきっかけとなった災害でもあります。福岡県は地震が比較的少ない県ではありますが少ないからと言って備えを怠ると大変なことになるかねません。ご家庭でも食料・水の備蓄(3日~1週間分)、災害用持ち出し袋の準備、家具の固定(転倒・落下防止)、災害時の連絡方法、避難場所等の共有などの備えをお願いいたします。因みに則松小学校は標高10m、則松市民センターは11m、則松中学校は6m、則松東公民館4m、松寿山公園37m、瀬板の森公園25mです。

お子様が学校に登校している間に災害が起こった際は、基本的に児童は学校にとどめます。地震で巨大な津波が想定される場合のみ、則松中学校の横を通って松寿山公園を目指すこととしています。災害時、児童は保護者引き渡しを原則としますので対応をよろしくお願いたします。